

令和4年産 紀南の梅産地情報

2022/04/19

1. 4月14日の定点調査では、小梅は前年よりやや少なく、平年よりやや多かった。古城・南高の着果数は、前年並みで平年より多かった。



4月14日時点の定点調査（基準日4月18日）の実肥りは、小梅 13.2mm（前年比 93%）、古城 16.8mm（前年比 77%）、南高 18.6mm（前年比 76%）となっており、主力である南高の果実肥大は前年より小さくなっている。

■ 定点調査の着果数（枝径2号の枝当たり）と着果率

品 種	令和4年				令和3年		平年 (H24~R3)	
	着果率	着果数	前年比	平年比	着果率	着果数	着果率	着果数
小 梅	41.4%	129	88%	113%	36.5%	146	30.9%	114
古 城	8.1%	27	108%	129%	6.7%	25	6.5%	21
南 高	17.3%	53	98%	133%	20.3%	54	13.8%	40
在来系	22.5%	60	59%	135%	24.5%	101	13.0%	44

2. 4月19日梅部会まとめの生産予想量は、小梅 821 トン（前年比 99%、平年比 105%）、古城 343 トン（前年比 78%、平年比 63%）、南高 20,287 トン（前年比 88%、平年比 93%）、在来系 378 トン（前年比 78%、平年比 79%）を見込んでいる。

生産量は今後の気象等により変動することがある。

3. 本年産の青梅販売方針は安全・安心で高品質な商品づくりと計画的安定出荷を基本に、卸売会社との連携により事前企画を強化し、市場青梅販売計画数量 3,094 トン（前年比 105%）を目標として取り組む。

4. 結実後の気温は、3月中旬・下旬は平年よりも高く、4月上旬は平年より低かった。降水量は3月中旬・下旬は平年より多くなり、4月上旬は平年より少なくなった。

月 旬	平均気温 °C				降水量 mm			
	4年	3年	2年	平年	4年	3年	2年	平年
3月中旬	14.4	13.2	10.8	11.0	40.0	14.5	8.5	38.2
3月下旬	12.6	14.0	13.4	11.9	62.0	70.0	44.0	39.8
4月上旬	13.5	14.9	12.8	13.8	2.5	17.5	27.5	44.3

南紀白浜気象データより